

# ちょっと待った!そのマダニ対策で大丈夫? 猫につくマダニに有効な駆除薬とは

猫に寄生するマダニをチェックする方法や、駆除薬として有効なものはどのようなものかを詳しくお伝えしていきます。



## マダニは室内飼いの猫にも寄生する可能性がある

完全室内飼いの猫であっても、マダニに寄生される可能性はあります。たとえば、飼い主が外出した際に、服にマダニをつけて帰ってきてしまい、その個体が猫に寄生することがあります。また、猫と一緒に犬を飼っている場合、犬が散歩から持ち帰ったマダニが寄生することもあります。その他、猫は行動範囲が広いので、玄関や屋根裏、ベランダなどを歩くうちに、マダニに寄生される可能性も否定できません。

## 猫にマダニが寄生した場合の症状とは

猫にマダニが寄生した場合、激しいかゆみを伴うアレルギー症状が出るほか、ヘモバルトネラと呼ばれる病気を媒介するため、重度の貧血に陥ることもあります。マダニは、ダニ脳炎、Q熱、日本紅斑熱、野兔病、ライム病などの感染症を媒介したり、最近では、人をはじめ猫や犬にも重篤な症状を示すSFTS(重症熱性血小板減少症候群)を媒介したりすることが知られています。

## 猫にマダニがついているかどうかのチェック方法

血を吸う前のマダニはゴマ粒大(2~3mm程度)の形をしており、色はグレー・茶色など、個体によって異なります。血を吸い始めると、赤黒く腫れてゴマ粒大から小豆粒大くらいまで大きくなり、見た目としてはイボや黒子(ほくろ)のようになります。マダニは主に、猫の頭から耳、目や口の周り、脇の下、喉元、指の間などに寄生していることが多いので、日頃ブラッシングをする中で、これらの部位をチェックしてあげると良いでしょう。なお、寄生しているマダニを発見した場合は、すぐに手で取ってあげたくなりますが、吸血して膨張したマダニは猫の皮膚の中に口を深く食い込ませている状態であるため、簡単に取ることはできません。そのため、発見した場合はすみやかに動物病院で診察を受けるようにしてください。

## 猫のマダニ駆除薬の種類

### ①スポットタイプ

スポットタイプは、猫のマダニ対策として動物病院で主に処方されている駆除薬です。猫の身体(主に頸部)に薬を滴下して使用するもので、猫への身体の負担が少ない状態でマダニを速やかに退治できます。猫の口が届く範囲に滴下してしまうと、毛繕い(グルーミング)で舐めとってしまう可能性があるため、首の後ろ側につけるようにします。

### ③スプレータイプ

スプレータイプは、マダニに効果のある薬剤を猫の毛並みに直接吹きつけて使用します。吹きつけるだけなので手軽に処方できますが、猫の全身に噴霧しなければならないため、スポットタイプと比べて手間がかかること、アルコール基剤のため、お部屋などで大量に噴霧すると気分が悪くなる場合があります。

### ⑤首輪タイプ

首輪タイプの駆除薬は、古くからホームセンターなどでも市販されており、猫の首につけることでマダニが寄り付かないようにするものですが、首の周り以外には効果が薄く、現在ではあまり主流ではないマダニ対策の方法です。

### ②錠剤タイプ

錠剤タイプは、お薬を猫に飲ませることで効果を得ます。スポットタイプと同じく動物病院で処方されることがありますが、猫が嫌がって飲み込まない場合などが考えられるため、現在ではスポットタイプの需要が主流です。

### ④シャンプータイプ

シャンプータイプは、マダニに効果のある薬用シャンプーで洗浄することにより、物理的および化学的にマダニを除去するものです。一定の効果は見込めるものの、シャンプーだけではすべてのマダニを取り除くことはできず、猫への負担も大きいので、あくまでも補助的な手段となります。

ノミ・マダニに関する最新情報をチェック!

☑ LINE 公式サイト LINE@友達募集中 →

